

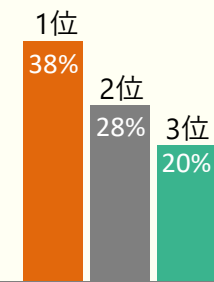
「セレンディピティ」 主人公はあなたです！

葛城市に新しく生まれる複合施設は、未来を担う子どもたちを中心に、誰もが気軽に立ち寄れる、居心地の良い場所にしたいと考えています。
複数の要素が隣り合った特徴を最大限に生かした、「偶然の出会いや発見(セレンディピティ)」が生まれる施設を目指しています。

1 発見

住民票の待ち時間にふと手をのばした本が「運命の一冊」になるかも。

Qどんな施設・エリアになってほしい？

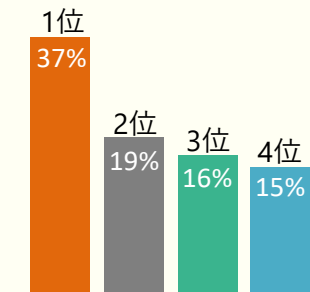


- 第1位:にぎわいのある施設
- 第2位:幅広い年代が一緒に使える施設
- 第3位:若者の声を反映した施設

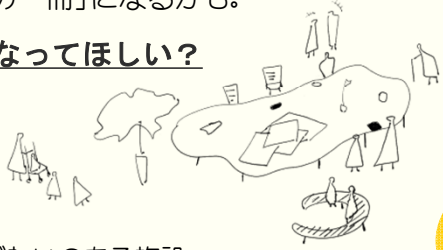
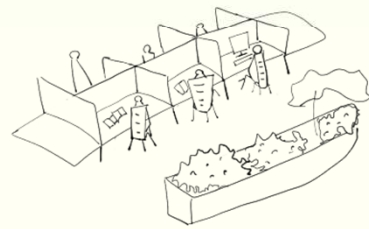
4 ふれあい

接点のなかった人と一生の友達になるような出会いがあるかも。

Qどんな共有スペースがあったらいい？



- 第1位:カフェなどの飲食スペース
- 第2位:静かなスペース
- 第3位:自由な屋外広場
- 第4位:団らんスペース



セレンディピティとは？

「偶然に思いがけない幸運な発見をすること」を意味する言葉で、「セレンディップの3人の王子たち」という物語が語源となっています。

2 のんびり

ちょっと立ち寄るつもりが「ついつい」本を読みふけったり、「たまたま」会った友達とゆっくりお茶することになるかも。

※グラフは「当麻庁舎周辺施設の整備に関するアンケート調査」から一部抜粋。

Q図書館はどんな空間になってほしい？

- 第1位:会話・飲食・学習できる環境
- 第2位:本がを見つけやすい空間
- 第3位:静かに読書・学習できる
- 第4位:色々な閲覧室の充実

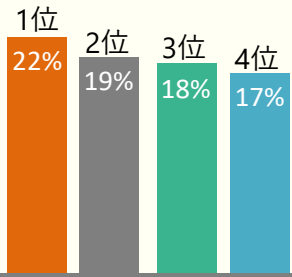


3 チャレンジ

ふと目にとまった教室が「面白そうかも」や「試してみたい」につながるかも。

Qどんな部屋があると楽しいだろう？

- 第1位:安全な室内運動ができる
- 第2位:声・音を気兼ねなく出せる
- 第3位:目的によってカタチを変えられる
- 第4位:色々な部屋と兼用できる

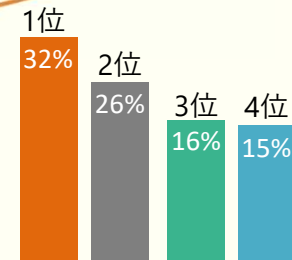


学び

たまたま触れたピアノや工作道具がきっかけで、将来はプロになるかも。

Qホールにはどんな設備・機能があったらいい？

- 第1位:遊び場と兼用できる座席収納型
- 第2位:日常使いができる簡易な設備
- 第3位:ピアノが使えるなどの体験・体感型
- 第4位:プロ向けの設備



5